

「第3期高知県産業振興計画(案)」の意見公募(パブリックコメント)の結果概要
(実施期間:平成28年1月25日から2月24日まで30日間)

【全体集計】

・70件

【分野別意見及び対応状況】

分野	意見数	対応状況 ※速報値		
		①反映済み	②今後の検討課題とするもの	③その他 (①②以外)
計画全体(総論)	10	8		2
農業分野	6	4	2	
林業分野	3	1	2	
水産業分野	4	2		2
商工業分野	6	4		2
観光分野	10	3		7
地産地消・地産外商	5	2		3
移住促進	7	6		1
担い手の育成・確保	5	3		2
地域産業クラスターの形成	1	1		
起業・新事業展開の促進	5	4		1
その他	8			8

【主なご意見】

計画全体(総論):

- ・次代を担う若者に高知県に住み続けてもらうためには、若者が不満とと思っていることに対応する計画にしてほしい。
- ・県の人口構成を考えるとシニアの力をもっと活用することを考えてほしい。
- ・「高知県民総幸福度」の指標を活かして、移住やCCRCを促進してほしい。

農業分野:

- ・農業クラスターの取り組みの方向性は非常によい。ただし、企業が大規模に経営を行う場合は、地域に溶け込み、地域の農業者と共存・共栄することが必要。

林業分野:

- ・自伐型林業者に対し、作業道の付け方や作業の進め方を教える等、安全に作業ができる体制づくりをしなければ産業として成り立たない。
- ・製材の価格が落ちており、今後数年間、同様の傾向が続くものと考えられるため、CLTが成功したとしてもこの3~5年をどうしのぐかが課題。

水産業分野:

- ・加工養殖魚の輸出促進やクロマグロの養殖を、是非振興してほしい。

商工業分野：

- ・防災関連産業については、産業振興と防災が相乗効果を発揮するようにすべき。例えば、防災関連製品を自主防災組織に使用してもらうなどの仕組みづくりを行ってはどうか。
- ・製造品出荷額等の目標達成は、工場誘致では難しい。県民が必要としている工業製品を製造するビジネスモデルを作り出し、それを県内で購入し、県外に売ることを進めてほしい。

観光分野：

- ・国際観光の強化のためには、海外メディアと連携した取り組みが重要。外国のテレビ局のドラマロケ地として立候補することや、新聞広告などを考えてほしい。
- ・歴史や食、自然を売りにすることも大切だが、国内外の観光客が求めているものの中に、伝統文化や技術に触れることもあるのではないかな。

地産外商：

- ・良い製品を作っても長期的には輸送コストなどの面で、後発の地域に負けてしまうため、長期的な競争力の維持を図るための施策を考えるべき。

移住促進：

- ・移住の取り組みが進んできたが故にマニュアル化された機械的な対応にならないよう、移住希望者の目的や希望、地域が必要としている人材のマッチングを最優先して進めてほしい。
- ・他県では30歳成人式を行うなど、一時的にでも出身者に帰ってきてもらう取組例がある。高知県でも大人が高知に帰ってくる機会を作してほしい。

担い手の育成・確保

- ・情報系の資格を持っていても、県内では就職口がないので、情報系の仕事を増やしていく必要がある。
- ・ITは地理的な障害がないため、本県で大いに進めるべき。企業誘致のネックが人材確保であれば、人材のデータベースのようなものがあれば企業の要望に応えられるのではないかな。

地域産業クラスターの形成：

- ・クラスターで仕事を作り出したとしても、若者の県外流出が進む中で、若者が高知で働くようになるか分からないと思う。

起業・新事業展開の促進：

- ・高知の地元の人が起業を目指せるようにしてほしい。
- ・経営が分かるのに時間がかかるため、インキュベーション的な機能が必要だと思う。
- ・田舎には仕事がないので、起業を希望する方への支援が必要。これによって、新しい人の流れを作り出せるのではないかな。

その他：

- ・長期的に人口の増加を目指すためには、子育て特区などを導入し、「子どもを産み育てるなら高知県」と言われるぐらい特化した政策を展開してほしい。